

平成 17 年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 実技教育研究指導センター

氏 名 山田 芳明

プロジェクトの名称	学部生の授業実践力を育成するためのデジタルコンテンツ開発	配分 予算額	1597,000 円
プロジェクトの概要	<p>本プロジェクトでは、授業実践場面をマルチトラックDVDとして録画し、録画したメディアを講義内で利用することにより学部生の授業実践力の向上を育成することを目的とした。</p> <p>学部生の授業実践力の育成は、本学の最重要課題である。その育成のために、初等中等教科教育実践学や実地教育といった授業科目では、しばしば授業場面を撮影した映像を視聴したり分析したりといった学習活動を取り入れている。しかし、ビデオカメラで撮影した映像は、限定された方向からの様子しか撮影されない、人間の視野よりも狭い範囲しか捉えられない、といった限界がある。そのため、ある場面において教師を撮影すると、教室の他の場所にいる子どもの様子を捉えることができない。それを補うために教師と生徒を全て撮影しようと広い範囲を撮影すると教師や子どもの表情や板書といった細部を捉えることができなくなる。もちろん、一つの授業を複数のカメラで撮影して、多様な情報を捉えることは可能であるが、複数の映像を同時に扱うのは煩雑である。</p> <p>本プロジェクトでは、多くのDVDに備わっているマルチアングル機能を利用し、一つの授業について複数のカメラで撮影した映像を一つのデジタルコンテンツにすることで、上記の問題の解決を図った。これにより、複数の映像を同時に取り扱うことが容易になった。具体的には、ある授業場面の教師の発言を映像で見ているときに、DVDのアングル切り替えボタンを押すだけで、別のカメラで捉えた子どもの映像に切り替えることができる。</p> <p>また、そのようなデジタルコンテンツを開発するだけでなく、それらを学部授業で活用して、授業観察を行わせる実践を行った。実践の結果を元に、従来型の映像コンテンツを利用した場合に比べ、学部生が「よい授業」に関するメンタルモデルを内的に形成できたかについて検討した。</p>		
成果の概要	<p>成果は、以下の通り。</p> <p>①附属小学校教員2名の授業および大学教員が附属小学校にて実践した授業（各1回、いずれも図画工作）を、マルチアングルDVDとして編集し、デジタルコンテンツ化した。すなわち、3つの授業実践DVDが成果物として作成された。</p> <p>②マルチメディアDVDを学部授業「美術科教材論」において学部生に視聴させ、その授業の授業案を推測させるという実践を実施した。従来型の映像「教師を中心に撮影をした映像」を用いて同様の実践をした場合と比較して、次のような結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像視聴過程での気づきについてメモを取るようにしたところ、前者の映像コンテンツを視聴したグループの学生は、教師の授業の流し方にそって教師進行の仕方に着目した記述が見られた。一方マルチアングルDVDを視聴したグループは、授業の概観とらえるような記述が見られた。 マルチアングルDVDを視聴したグループでは、子どもの活動に目を向けた「型を取る子どもがいる」「粉をまぶす子どもがいる」などといった具体的な記述や、子どもの印象を取り上げた記述などが見られた。 <p>以上のことから、学生に対して単に授業の流れをつかませたい場合には従来型の単一アングルの映像によって教師の指導に観点を絞ったものが効果が期待できるが、授業の概観を捉えさせたり、個々の関心にもとづいて授業を観察させたい場合にはマルチアングルDVDコンテンツの効果が期待できることが予想される。</p>		

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
 2. 概要については、800字程度にまとめること。
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
 4. なるべくパソコン等で作成願います。